

マーケットの動き（2024年4月1日～4月5日）

先週の米国国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。1日に発表された米国ISM製造業景況感指数の上振れを受け、米国長期金利は上昇しました。FRB（米国連邦準備制度理事会）高官から早期利下げに慎重な見方が相次いだほか、地政学リスクや産油国の減産を背景に原油高が進んだことなどから、FRBによる利下げ先送り観測が高まり相場の重荷となりました。

欧州国債市場は、前週末比で金利は上昇しました（債券価格は下落）。

投資環境見通し（2024年4月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともにレンジ内で推移

米国：長期金利は、年内の利下げ回数予測を巡り、FRB（米国連邦準備制度理事会）と投資家との隔たりは解消しつつありますが、物価関連をはじめとした経済指標や原油価格の動向などからインフレ再燃への警戒感が残るとみられます。長期金利は当面レンジ内での推移を予想しています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）高官の発言から利下げ開始時期は6月との見方が広がっていますが、賃金インフレに対する警戒感からECBはその後の利下げについては慎重に行うとみられることから、ドイツ長期金利はレンジ内で推移するとみています。

	4月5日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	4.39	0.19	0.26	▲0.32	1.11
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	584.39	▲0.61%	0.09%	8.59%	15.23%

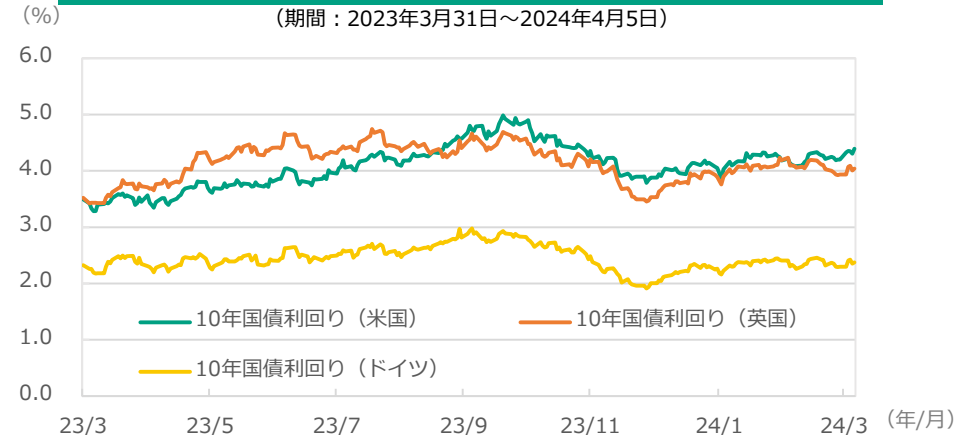
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202404_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移

（期間：2023年3月31日～2024年4月5日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2023年3月31日～2024年4月5日）



※2023年3月31日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>